

冬の野鳥観察セルフガイド

スズメ、ムクドリ、ハト(キジバト)、カラス(ハシブトガラス)の4種は、野鳥の大きさや特徴の基準になる“ものさし鳥”！
この4種を覚えておきの野鳥と比べてみると、野鳥の世界が広がりますよ！



森林の野鳥

森の木の梢や、頭上の幹や枝を飛びまわったり、生い茂るやぶの中や林床にいる野鳥。



メジロ
花のみつや果実など甘いものが好き。「キョロキョロ、チー」と鳴き、森を行き来する。



エナガ
長い尾が名前の由来。森の中を群れて行動し、「ジュリリ、チリリリ」という声で鳴く。



シジュウカラ
灰色の背中とネクタイのような胸の模様が特徴。危険を感じると「ジジジジ…」と鳴く。



ヤマガラ
とても足先が器用な野鳥でエゴの実が大好物、「ツイツイ、ニーニー」という声で鳴く。



コゲラ
背中にしま模様がある小さなキツツキ。「ギー」と古い戸を開け閉めするときの様な鳴き声。



ルリビタキ♂
薄暗いやぶの近くにいることが多い。「ヒッヒッ」という鳴き声はジョウビタキに似ている。



ルリビタキ♀タイプ
オスの若鳥とメスの体の色はよく似ている。オスは美しい瑠璃色になるまで約3年かかる。



ウグイス
笹やぶの中から「チャッ、チャッ」という鳴き声が聞こえるが、姿をみせるのは一瞬。



シメ
太く短いクチバシで、草木の実を割って食べる。木の上で「ピチュ」と短く鳴く。



イカル
群れて飛行することが多く、「キョッキョク」という声で鳴く。クチバシは太く黄色。



シロハラ
地面の上を跳ね歩きながら落ち葉をひっくり返し、虫やミズを食べている。



アオゲラ
苔のような青々とした羽が名前の由来。「ピュー、ケケケ」といった声で鳴く。



キジバト
鮮やかな模様の羽をもつハトの仲間。地面で食べ物を探していることも多い。



ハシブトガラス
森林や市街地にいるカラスの仲間。大きな声で「カア、カア」と鳴く他、濁った声も出す。



トビ
よく上空を輪を描きながら飛び、地上の食べものを探す。よく「ピーヒョロロ」と鳴く。



コジュケイ
ペットや狩猟鳥として移入された。やぶの中を歩き、「チョットコイ！」と鳴く。



ガビチョウ
ペットとして飼育され、逃げ出した個体が各地で繁殖している。鳴き声が多彩。

冬の野鳥観察セルフガイド

「森林」、「草地」、「水辺」といった、自然環境ごとに観察できる野鳥を紹介しています。ひとつの自然環境にとどまる野鳥もいれば、季節や時間帯などによって、行動範囲や生活場所が変わる野鳥もあります。多種多様な野鳥の暮らしに目を向けてみてください！



草地の野鳥

森のすぐ側にある草むらや芝生地、畑などの明るく開けた環境を好む野鳥。
※林縁も含まれます。



ジョウビタキ♂
羽に白い斑点があることから、別名は「もんつきどり」。尾を上下に小刻みに振る。



ジョウビタキ♀
「ヒッ、ヒッ」という声の合間に「カッカッ」という石を叩いたような声を入れます。



アオジ
薄暗い茂みでも観察できるホオジロの仲間。「チッ、チッ」と鳴き、草の実などを食べる。



カシラダカ
頭部の羽がモヒカンのように逆立つので「頭高(カシダカ)」。地面で草の実などを食べる。



ホオジロ
開けた場所や明るい草むらを好む。「チチチッ」と途切れずに鳴く。



カワラヒワ
広い草地などで、群れで暮らしている。草木の実を食べる。大好物はヒマワリの種。



ビンズイ
尾羽を上下にゆっくり振りながら歩くセキレイの仲間。飛び立つときに「ツイー」と鳴く。



ハクセキレイ
顔は白く、眼に黒いラインが入る。水辺で見かけることも多い野鳥。



モズ
木や看板の上で、尾をグルグル回している。どう猛な性格で、小鳥を襲うこともある。



ムクドリ
芝生地などで食べ物を探す。秋になると大群を作り、たびたびニュースになる野鳥。



ツグミ
顔の白い眉(眉斑・ひま)と、お腹の黒い斑点が目立つ。飛びながら「ケッケッ」と鳴く。



水辺の野鳥

池や水路など、水辺の近くに集まる野鳥。



カワセミ
水辺の近くを「チイー」と鳴きながら飛ぶ。水に飛び込んで魚やザリガニなどを捕らえる。



キセキレイ
水辺の近くにいる黄色いセキレイの仲間。身軽で、空中の虫を器用に捕らえる。



コガモ
カルガモより一回り以上小さい、日本で一番小さなカモ。時々大田切池に飛来する。



カルガモ
黒と黄のくちかしが特徴。水浴びする姿や、池に潜って水草を探す姿が観察できる。



アオサギ
背中の羽が灰色がかった大きなサギ。羽ばたきながら「グワッ」と大きな声で鳴く。